

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
 担当課長名： 渡辺 学

事業の概要

事業名	空港・港湾等アクセス道路 一般県道小猿屋黒井停車場線 福橋バイパス	事業区分	地方道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県上越市三ツ橋 至：新潟県上越市福橋	延長	1.2 km		

**事業概要**  
 一般県道小猿屋黒井停車場線 福橋バイパスは、延長約 1.2km の道路であり、上越市の北部に位置する環状道路である都市計画道路黒井藤野新田線の一部を構成している。当該路線は直江津港（重要港湾）と国道 18 号及び北陸自動車道上越 IC へ連絡する道路で、直江津港や沿道に位置する産業団地等の円滑な物流の確保等を目的としている。

**事業の目的、必要性**  
 直江津港が 2021 年までにガントリークレーンの機能強化、防波堤移設による航路拡幅を予定していることから、当該事業の整備により、国道 8 号の渋滞区間を回避しアクセス時間が短縮されることで、国道 18 号及び北陸自動車道上越 IC と直江津港を結ぶ円滑な物流ネットワークが期待される。

全体事業費	46 億円	計画交通量	8,900 台/日
-------	-------	-------	-----------



**関係する地方公共団体等の意見**  
 都市計画道路黒井藤野新田線（一般県道小猿屋黒井停車場線）建設促進期成同盟会、黒井藤野新田線沿線町内会および上越市から要望を受けている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
 —

**事業採択の前提条件**  
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。  
 ・都市計画道路黒井藤野新田線（一般県道小猿屋黒井停車場線）建設促進期成同盟会などから要望を受けており、また都市計画決定も完了（H10.7.14）しているなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用 38億円 （事業費：37億円 維持管理費：0.79億円）	総便益 60億円 （走行時間短縮便益：44億円 走行経費減少便益：11億円 交通事故減少便益：5.3億円）	基準年 令和元年度
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2（交通量 -10%）	B/C=1.9（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.4（事業費 +10%）	B/C=1.7（事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=1.5（事業期間 +20%）	B/C=1.6（事業期間 -20%）		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		◎	・交通転換により並行する国道8号の交通量が減少し、交通事故が減少 【交通事故の減少】事故危険区間5箇所 国道8号（黒井交差点から頸城入口交差点、三ツ屋交差点、安江東交差点、安江西交差点、下源入交差点）
歩行空間		○	・バイパス整備により通過交通を排除することで交通量が減少し、歩行者の安全が確保される。
社会全体への影響	住民生活	○	・第二次医療機関（上越総合病院）への速達性向上に寄与する。
	地域経済	◎	・国道18号や北陸自動車道から、県営南部産業団地及び上越テクノセンター等へのアクセスルートが形成され、物流効率化を支援 ・重要港湾である直江津港へのアクセス性が向上
	災害	○	・第一次緊急輸送道路に位置付けられている国道8号を補完することから、災害時の道路ネットワークが強化される。
	環境	—	・注目すべき影響はない。
	地域社会	○	・並行する国道8号の渋滞区間を迂回できることから、観光施設などへのアクセス性が向上し、交流人口の拡大に寄与する。
事業実施環境		○	・都市計画決定（H10.7.14） ・上越市総合計画及び上越市都市計画マスタープランにおいて、本路線の整備が位置付けられている。 ・都市計画道路黒井藤野新田線建設促進期成同盟会などから早期整備の要望を受けている。

採択の理由

事業主体である新潟県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、重要港湾である直江津港などへのアクセス向上による物流の効率化や、並行する国道8号の渋滞緩和、交通事故の減少が見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。  
 以上により、本事業は令和2年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。